

8 保護者・地域、校種間連携

学校と関係者が様々な場面で連携・協力することで児童の学習意欲を喚起し、コミュニケーション能力を育成

家庭・地域・校種間の
連携を重視した計画的な
取組



すくすく教室（放課後子ども教室）

地域の方々の指導により、水曜日の放課後、土曜日の午前中に様々な教室を開催
カメラ教室 デジカメで写真づくり
茶道教室 茶道体験、礼儀やマナーの学習
パソコン教室 ワープロなどの習得
勾玉づくり 勾玉づくりに挑戦 など



社会人講師による読み聞かせ

3・4年生を中心に、地域の読書サークルによる読み聞かせ、素話、ブックトークなどが行われている。

職場体験活動（4年生）

「京の子ども 夢・未来体験」

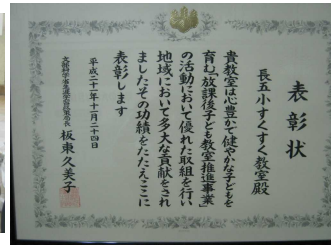
地域の事業所や保護者の方の協力のもと、仕事を体験し、望ましい職業観や勤労観を身に付け、将来への希望を培うなど、キャリア教育を推進している。

小中連携 6年生「英語活動」

長岡第四中学校の英語科教員がT1となり、担任とのTTで授業を実施している。
“英語ノート”を活用し、楽しみながら、コミュニケーション能力の基礎を培っている。

小・中・高の連携「金管クラブ」

地域のボランティア講師や、長岡第四中学校、西乙訓高校の先輩の指導を受け、休み時間や放課後も利用して熱心に練習を続けた。体育大会、友好祭、プレ国文祭など、様々な場所で成果を披露している。



9 成果と課題

3年間の継続的研究の成果を生かした研究体制の構築と校内研修の充実

「ことばの働き」に着目した読むことの指導による国語科の授業改善の追究

教職員の共通理解をもとにした「学校のきまり」や「授業ルール」定着の指導と落ち着いた学習環境の創出、学習習慣の定着化

保護者、地域、校種間の連携した様々な取組による児童の学習意欲の向上と望ましい生活習慣の育成

学年の系統性を明確にした「ことばの働き」を捉える指導の充実

読むことを重視した指導から、「ことばの働き」を生かした表現活動の充実

日常的な言語環境及び学習環境の整備と定着化